

循環器病に関する 富山県の主な取組みについて (令和6年度実績)

1 循環器病の予防や正しい知識の普及

循環器病の発症予防のための健康的な生活習慣づくりや危険因子に関する普及啓発を実施。

○とやま健幸応援プロジェクト

野菜摂取の目標（1日350g）の達成を目指し、市町村に対して健康イベント等で活用できる野菜摂取量測定器や啓発物品を貸し出すことにより、各市町村における健康づくりの取組みを支援

- ・貸出し実績：25件

○働き盛りの健康づくり支援(健康ポイント)事業

主に働き盛りの健康づくりを支援するため、県公式スマートフォン歩数計アプリ「元気とやま かがやきウォーク」を活用した健康ポイント事業を実施し、楽しみながら継続して健康づくりに取り組む環境を整備

※累計ダウンロード数 33,386件（R7年3月末時点）

○糖尿病予防に向けた栄養・食生活改善の普及啓発

糖尿病予防に向けた県民の栄養・食生活改善の取組みについて、産官学、管理栄養士・栄養士がそれぞれの専門性を活かした対策について考えるシンポジウムを開催

■糖尿病予防 栄養・食生活改善セミナー

- ・開催日 令和7年1月12日（日）
- ・場所 富山大学五福キャンパス内 黒田講堂
- ・参加者 47名



発症時に適切な治療を行うことで、後遺症を含めた予後の改善につながるため、発症後早期の対応やその必要性に関する啓発を推進

○脳・心臓病対策推進事業

(1) 脳・心臓病市民公開講座

循環器病の正しい知識を普及啓発するための市民公開講座を
県内医療機関と開催

・富山県立中央病院（12月8日開催）

「動脈硬化と心臓病、年齢に負けない健康管理のコツ」

「大動脈解離について」

「脳卒中からあなたを守る！～安心確実・低侵襲な脳卒中治療～」

「脳と心臓を守る！心房細動治療のお話」

参加者 66名

・富山県済生会富山病院（2月23日開催）

「脳卒中は予防が一番、時間が二番」

「家庭血圧の重要性」

「薬の飲み忘れをなくそう」

「血圧にやさしい食事」

「早期リハビリテーションの重要性」

「口の中をみてみよう。（脳と心臓と口の関係）」

参加者 304名

(2) 脳卒中・心臓病等総合支援センター事業

- ・支援者が患者・家族への相談支援を効果的に行うための資料の作成
（富山大学附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター委託）



2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

(1) 循環器病を予防する健診の普及

特定健康診査・特定保健指導、歯周疾患検診等の保健事業について各医療保険者、市町村における取組み、地域課題・データの把握と円滑な実施に向けた支援を行うとともに、特定健康診査・特定保健指導の理解の促進など県民への啓発を推進。

○PFSSを活用した特定健診受診勧奨モデル事業

民間事業者の創意・工夫を取り入れた効果的な特定健診受診勧奨の手法を探るため、PFSSを活用し、モデル市町においてレセプト分析による対象者の特性に応じた通知勧奨等を実施(実施期間:令和5年度～令和7年度)

○特定健診受診率等向上支援事業

特定健診等の効果的な勧奨方法や実施体制等について、市町村個別相談会を開催し、市町村の取組みに対する助言を実施(6市町)

○PFSSを活用した特定保健指導実施率向上に向けたスキーム構築事業

特定保健指導の実施率向上を図るため、令和7年度からのPFSSを活用した特定保健指導事業の実施に向けたスキーム構築を実施

○保健事業の推進・人材育成支援事業

対象者の特性に応じた保健指導の実施にかかる資質向上を図るため、市町村職員を対象とした研修会を開催

○特定健診データを活用したリスク因子状況分析

市町村国保・協会けんぽの健診データからリスク因子を分析し、健康課題を把握

(2) 救急搬送体制の整備と救急医療体制の確保

循環器病発症後、迅速に適切な治療が行えるよう救急搬送体制の充実を図るとともに、救急車の適正利用と循環器病の症状が疑われる場合の速やかな救急搬送要請に向けた県民への普及啓発を実施。

○救急受診ハンドブックを活用した普及啓発

○救急救命士病院実習受入促進事業補助金

医療機関が救急救命士に対して行う心肺蘇生等の救急救命処置実習を支援

○ドクターヘリの運航

救急患者の救命率向上や後遺症の軽減に資するため、ドクターヘリを運航

・令和6年度実績：要請436件、受諾415件

（前年度：要請534件、受諾494件）

・ランデブーポイント箇所数：614箇所（令和7年4月1日時点）

○医療提供体制設備整備事業

救急医療を担う医療機関が行う設備整備を支援



(3) 急性期から回復期、維持期の医療提供体制の構築

患者の状態に応じた良質かつ適切な医療を効果的かつ効率的に提供する医療体制の構築と、急性期、回復期、維持期における切れ目のない連携を促進

ICTを活用した脳卒中等医療情報ネットワーク整備事業

脳卒中患者の発症から治療に要する時間を短縮し、患者の予後改善や死亡率の減少につなげるため、県内の脳卒中急性期医療機関をネットワークで結ぶ「医療情報共有ツール」の導入を支援

活用病院数：11病院



(3) 急性期から回復期、維持期の医療提供体制の構築

○かかりつけ医への心不全対応力向上研修の開催(富山県医師会委託)

かかりつけ医が心不全患者の在宅医療について理解を深めるための研修会を実施

内容:「退院後の生活へ繋げる、心不全患者の入院治療」「慢性心不全急性増悪時の外来対応」

「かかりつけ医が担ってほしい生活期の心不全患者に対する包括的管理～運動療法、身体活動支援を中心に～」

受講者:67名(会場 11名、WEB 56名)

○循環器病支援者研修会の開催

(富山大学附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター委託)

県内の循環器病患者支援に関わる関係者を対象とした研修会を開催

内容:「急性期脳卒中の神経診察ーいかに早く見つけるか?」

「急性期脳卒中の治療ー早ければ早いほど良き哉ー」

「富山県における脳卒中の再発リスクー慢性期管理の注意点ー」

受講者:31名

富山県委託事業「循環器病支援者研修会開催業務」
県内医療従事者対象
循環器病支援者研修会
脳卒中の診断、慢性期の管理について
2025年1月10日(金) 18:30-20:00
現地受講とWeb受講のハイブリッド開催
富山県民会館 5階 509号室
参加無料

○富山県在宅医療支援センター運営事業(富山県医師会委託)

在宅医療に取り組む医師の参入促進、在宅医療に係る研修会の開催・相談対応、郡市医師会在宅医療支援センターの活動支援

・在宅医療スキルアップセミナー等研修会の開催 6回

(3) 急性期から回復期、維持期の医療提供体制の構築

○富山県訪問看護総合支援センター事業(富山県看護協会委託)

県内訪問看護ステーションの人材確保、質の向上、経営の安定化を図り、在宅療養者への訪問看護提供体制の安定化・機能強化を支援

・訪問看護・医療機関相互研修

①病院看護師出向研修 (出向元)病院:1医療機関、(出向先)訪問看護ステーション:1事業所

②病院看護師の研修受入 (研修元)病院:1医療機関、(研修先)訪問看護ステーション:1事業所

・訪問看護スキルアップ研修 5医療機関

・小児医療対応力向上技術研修の開催 1回

○回復期機能病床確保事業

回復期リハビリテーション病床や地域包括ケア病床への転換を支援

活用病院数及び転換病床数

	R4		R5		R6	
	回復期 リハ病床	地域包括 ケア病床	回復期 リハ病床	地域包括 ケア病床	緩和ケア 病床	地域包括 ケア病床
活用病院数	1病院	2病院	2病院	0病院	1病院	1病院
転換病床数	50床	50床	53床	0床	14床	36床

○医療勤務環境改善・キャリア支援事業

○とやま地域医療連携ネットワーク推進事業

大学病院、医療機関等と連携し、医師不足に直面する県内医療機関を支援

(4) リハビリテーションの体制整備

急性期からの速やかなリハビリテーションの提供と、急性期、回復期、維持期に応じた切れ目のないリハビリテーションの提供を推進

○富山県リハビリテーション支援センターの運営

関係者研修会や連絡会の開催、調査・分析を実施し県全体のリハビリテーション支援体制を推進

【研修会】

「地域包括ケアシステムとリハビリ専門職の役割」出席者63名

「それぞれの地域が求める地域包括ケアシステムをどう創るか」出席者67名

【脳卒中情報システム回復期分析】

対象：県内の回復期リハビリテーション病棟を有する8医療機関

R元年～R4年度患者分析結果【対象：2,821名】

発症から回復期病棟入院までの日数	29.7日(全国38.1日)			
回復期病棟在院日数(平均)	71.9日(全国81.6日)			
入院時FIM別にみたFIM利得(運動)	入院時平均点数・改善度が全国同等			
	入院時FIM	入院時【全国】	退院時【全国】	改善値【全国】
	53点以上	68.0【66.3】	84.8【83.8】	16.8【17.5】
	27～52点	39.1【39.8】	68.7【68.4】	29.6【28.6】
26点以下	17.5【16.9】	34.6【32.9】	17.1【16.0】	
在宅復帰率(自宅、居宅系介護施設)	80.2%(全国72.5%)			



【病院・在宅連携実態調査】

医療機関と介護支援専門員の連携状況等について調査

■ 退院調整実施率

H26	R6
76.7%	86.5%

※全国値は回復期リハビリテーション病棟協会「回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書」より抜粋

(4) リハビリテーションの体制整備

○地域リハビリテーション広域支援センターの運営

医療圏ごとに地域リハビリに関する普及啓発やリハビリ実施機関への支援を実施

【主な研修会開催状況】計22回、出席者計1,019名

- ・「心不全とは－在宅で生活を続けていくための治療と管理－」
- ・「ハイリスクアプローチとリハビリテーション専門職の関わりについて」

○地域リハビリテーション地域包括ケアサポートセンターの運営

介護予防事業等へリハビリ専門職を派遣し、自立支援に資する取組みを促進

【市町村介護予防事業等へのリハビリ専門職派遣実績(件数)】

区分	地域ケア会議	介護予防教室	通いの場	研修会講師	その他	計
令和2年度	76	76	29	3	23	207
令和3年度	86	65	89	17	20	277
令和4年度	89	64	177	15	10	355
令和5年度	93	39	112	31	24	299
令和6年度	81	53	120	11	9	274

(5) 循環器病の後遺症を有する者に対する支援

発症後様々な後遺症を残す可能性があることから、後遺症等に関する理解を深める普及啓発に努めるとともに、機関との連携体制を整備し、高次脳機能障害者やその家族等への総合的な支援を行う。

○高次脳機能障害支援普及事業(再掲)

○富山県リハビリテーション支援センター、地域リハビリテーション広域支援センター、地域リハビリテーション地域包括ケアサポートセンターの運営(再掲)

(6) 循環器病と緩和ケア

循環器病の中でも心不全は、すべての心疾患に共通した終末的な病態であり、高齢化に伴い患者も増加していることから、患者と家族のQOL向上を図るため、医師等の医療従事者や県民等に対して研修会を開催

○かかりつけ医への心不全対応力向上研修の開催(再掲)

○循環器病県民公開講座の開催(再掲)

(7) 治療と仕事の両立支援・就労支援

治療と仕事の両立や復職・就労について、患者・家族の悩み等の把握に努めるとともに、医療機関や労働局、富山産業保健総合支援センター等の関係機関と連携し、それぞれの課題・悩みに応じた情報提供・相談支援ができる体制の整備を推進

○富山県地域両立支援推進チーム会議による情報共有

(8) 小児期、若年期から配慮が必要な循環器病への対策

学校健診等の機会における循環器病患者の早期発見の推進と、循環器病患者の小児期から成人期にかけて切れ目のない支援体制の整備と療養生活に関する相談支援と児童の自立支援を推進

○小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

小児慢性疾病児童等自立支援員等による療養相談・訪問指導等の支援を実施

○学校心臓検診の実施

既往歴のある児童生徒や、検診により心疾患が発見された児童生徒へ学校管理指導表に基づき、適切な保健管理と保健指導を実施

○心臓病の子どものための講演会（富山県心臓病の子どもを守る会と共催）

開催日 令和6年10月6日（日）13：30～15：30

内 容 「災害と心疾患」

参加者 26名

(9) 相談支援及び情報提供

患者やその家族の個別ニーズに対して関係者が連携・協力し、適切かつ継続的な相談支援体制の構築と相談支援の充実を図る。

○高次脳機能障害支援普及事業

県高次脳機能障害支援センターを設置し、障害者等への相談支援や普及啓発等を実施

【R6年度相談実績：延1,297件】

○障害者就業・生活支援センター事業

障害者の就労や生活に関する相談支援等を実施

【R6年度利用登録者数2,274人】

○富山大学附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター

3 循環器病の調査・研究推進

(1) 診療データの収集・分析

国が進めている循環器病に係る診療情報の収集・活用の公的な枠組みの構築状況を注視

(2) 本県の特徴を踏まえた研究推進

富山県脳卒中情報システムや急性心筋梗塞の診療情報等を収集し、発症や診療、連携状況の分析及び評価を実施

